

【点検結果表の別紙】

《遵守費用に係る補足説明》

遵守費用について、評価書に「キャリアコンサルタント試験を受験するための費用」と記載しているが、本規制により発生した費用ではなく、キャリアコンサルタント試験の創設により発生する費用であるため、遵守費用は発生しない。また、「守秘義務に違反した場合は、罰則が科せられます」と記載されているが、法で定める禁止行為に係る規定に違反した場合に課せられる罰則は、規制を遵守するために発生する費用ではないため、遵守費用は発生しないものと考えられる。

《その他の社会的費用に係る補足説明》

本規制により、今までキャリアコンサルタントの名称を使用していた者が、名称を使用できなくなるという社会的費用が発生すると考えられる。

《費用と便益の関係の分析に係る補足説明》

本規制の導入により、国においてキャリアコンサルタントでない者がキャリアコンサルタント又はこれに紛らわしい名称を使用した場合に指導等を行うための行政費用が、また、今までキャリアコンサルタントの名称を使用していた者がその名称を使用できなくなるという社会的費用が発生するものの、キャリアコンサルティングの専門的な知識・技能を有する者が明確になるほか、キャリアコンサルタント資格への信頼が高まり、キャリアコンサルタントの活用が進むことで、本規制に係る費用と比して、より大きな便益につながるものと考えられる。

《代替案との比較に係る補足説明》

(代替案の遵守費用について)

遵守費用について、評価書に「キャリアコンサルタント試験を受験するための費用」と記載しているが、本規制により発生した費用ではなく、キャリアコンサルタント試験の創設により発生する費用であるため、遵守費用は発生しないものと考えられる。

(代替案の費用と便益の関係の分析について)

代替案では、費用を上回る一定の便益は得られるものの、国においてキャリアコンサルタント資格の周知のための費用が発生する上、キャリアコンサルティングに関する専門的な知識・技能を有しない者であってもキャリアコンサルタントの名称を使用することができる。このため、キャリアコンサルタントの知識・技能の質を外形的に判断することができず、労働者や事業主が当該判断の負担を強いられることになるほか、知識・技能の質が低いキャリアコンサルタントに相談した場合には労働者本人のキャリア形成に不利益が生じる可能性があり、キャリアコンサルタントの活用が進まないことが予想されることから、本規制は代替案より適切であると考えられる。